

臨床検査技師

樋口 みな子

(北海道江別市 50歳)

わが家から発信するミニコミ紙「銀河通信」が昨年十一月で百号になりました。発刊から十一年余りになります。百号には、たくさん読者の励ましのおかげで、編纂しながら何度も胸が熱くなりました。

ある方は、こう書いてくれました。「銀河通信は規模が小さいからいい。編集者の顔が見え、息遣いが感じられる。大新聞は、市民

一人ひとりの声をすくい上げるという点が弱い。だから、銀河通信の目線は貴重です。普段書の語り口に引き込まれます」と。

私は、環境保護活動を約二十年間続けてきました。どの問題も簡単には展望を見いだし得ない日本です

環境と平和へ 銀河通信100号

紙面は現在、B4判八割で、二カ月一回発行する。環境、医療、教育、平和などをテーマに、最近では、ガイドライン関連法や国旗・国歌法などを取り上げました。取材のほか、寄稿などもあります。読者の交流欄も目玉

読者百二十人のささやかな通信ですが、北海道の豊かな自然を守るため、歩いて、見て、聞いて、今年も書き続けたいと思います。



どんど焼き